

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6 年 6 月 14 日

堺市長 殿

提出者
住 所 大阪府堺市堺区匠町1番地
氏 名 コーニングジャパン株式会社
堺工場長 澤村 将宏
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 072-222-3900

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	コーニングジャパン株式会社 堺工場
事業場の所在地	大阪府堺市堺区匠町1番地
事業の種類	22: 窯業・土石製品製造業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

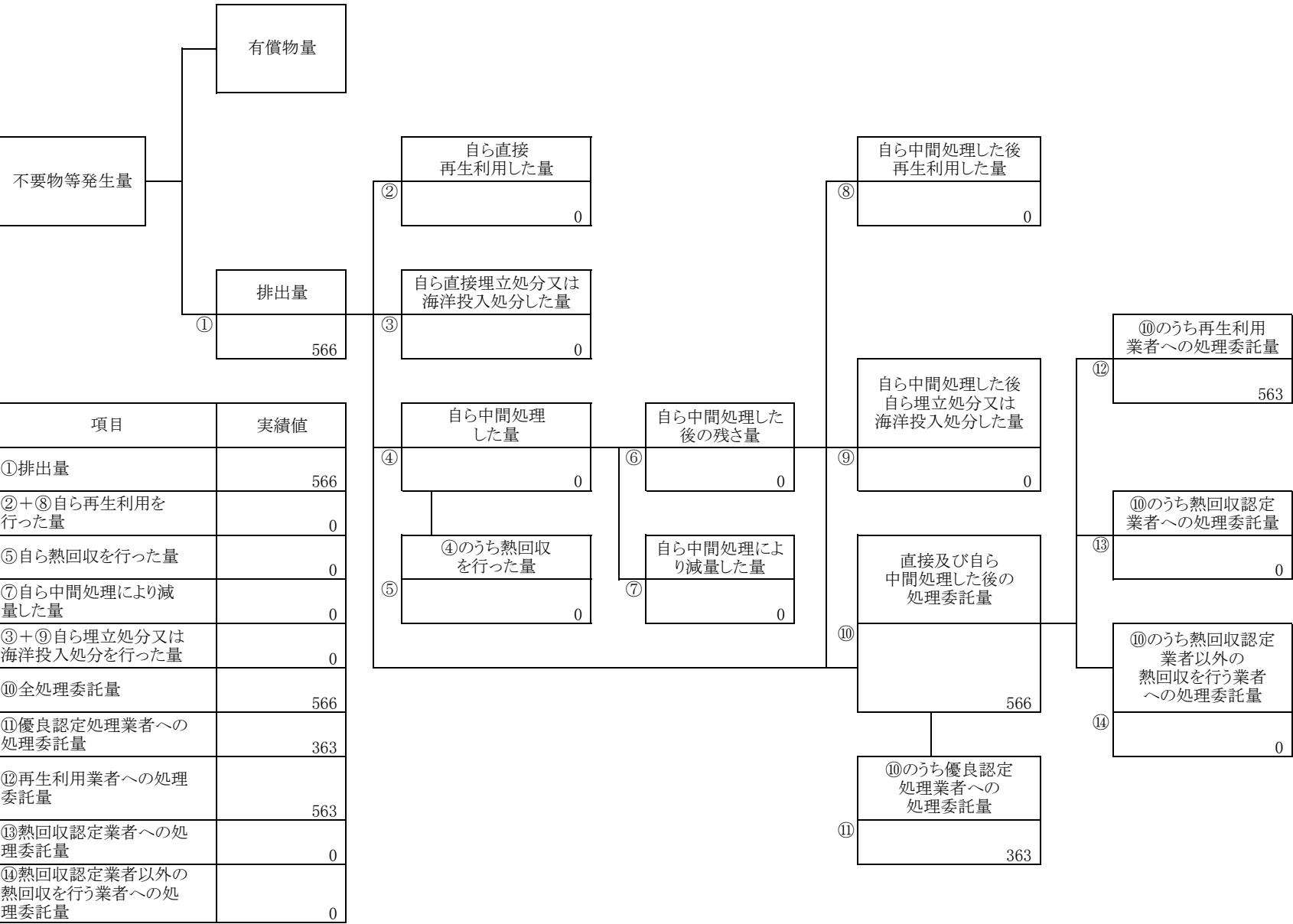
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1770 t	全処理委託量	1770 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	1567 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	1705 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t

※事務処理欄

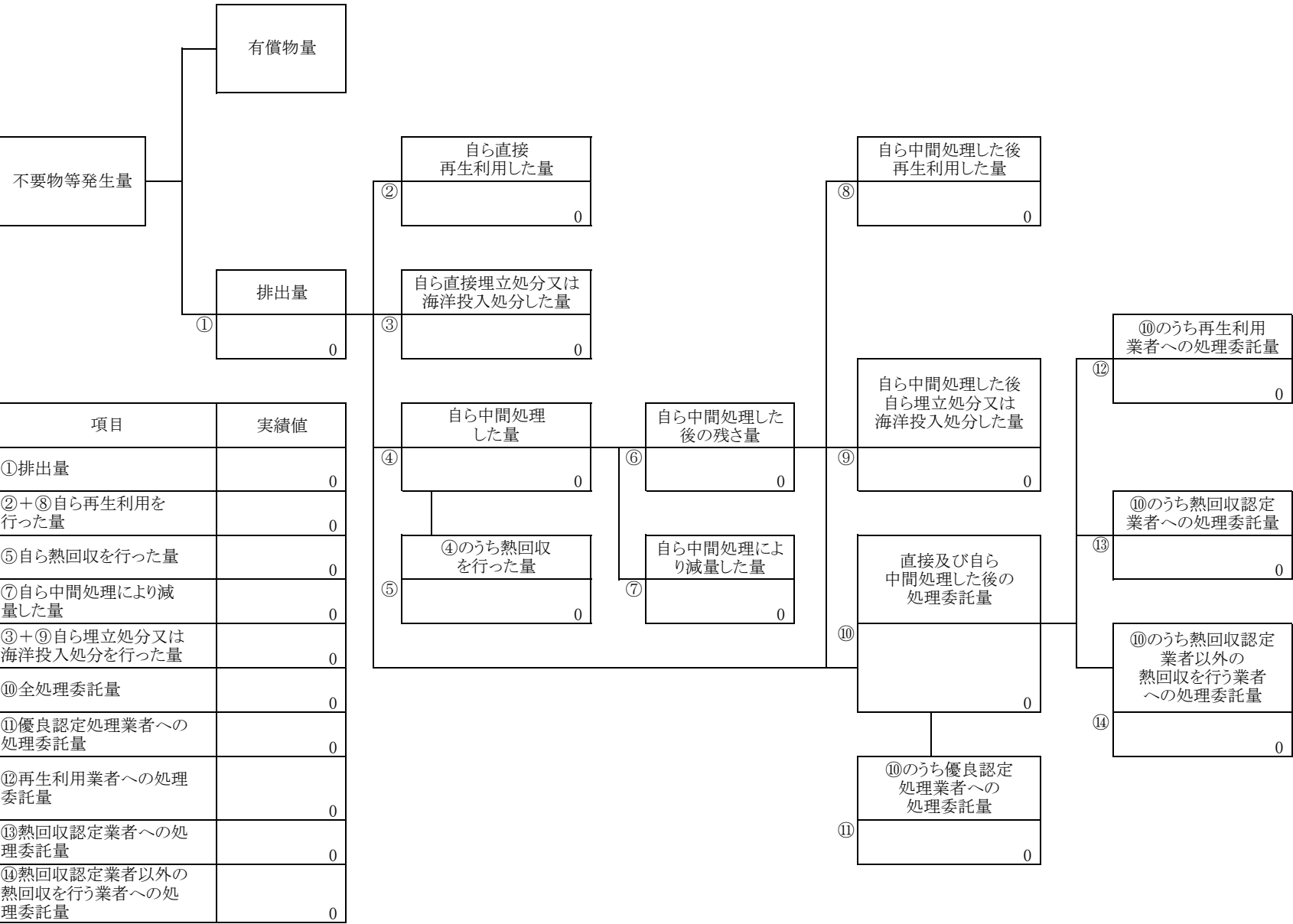
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ①カレット A工程)



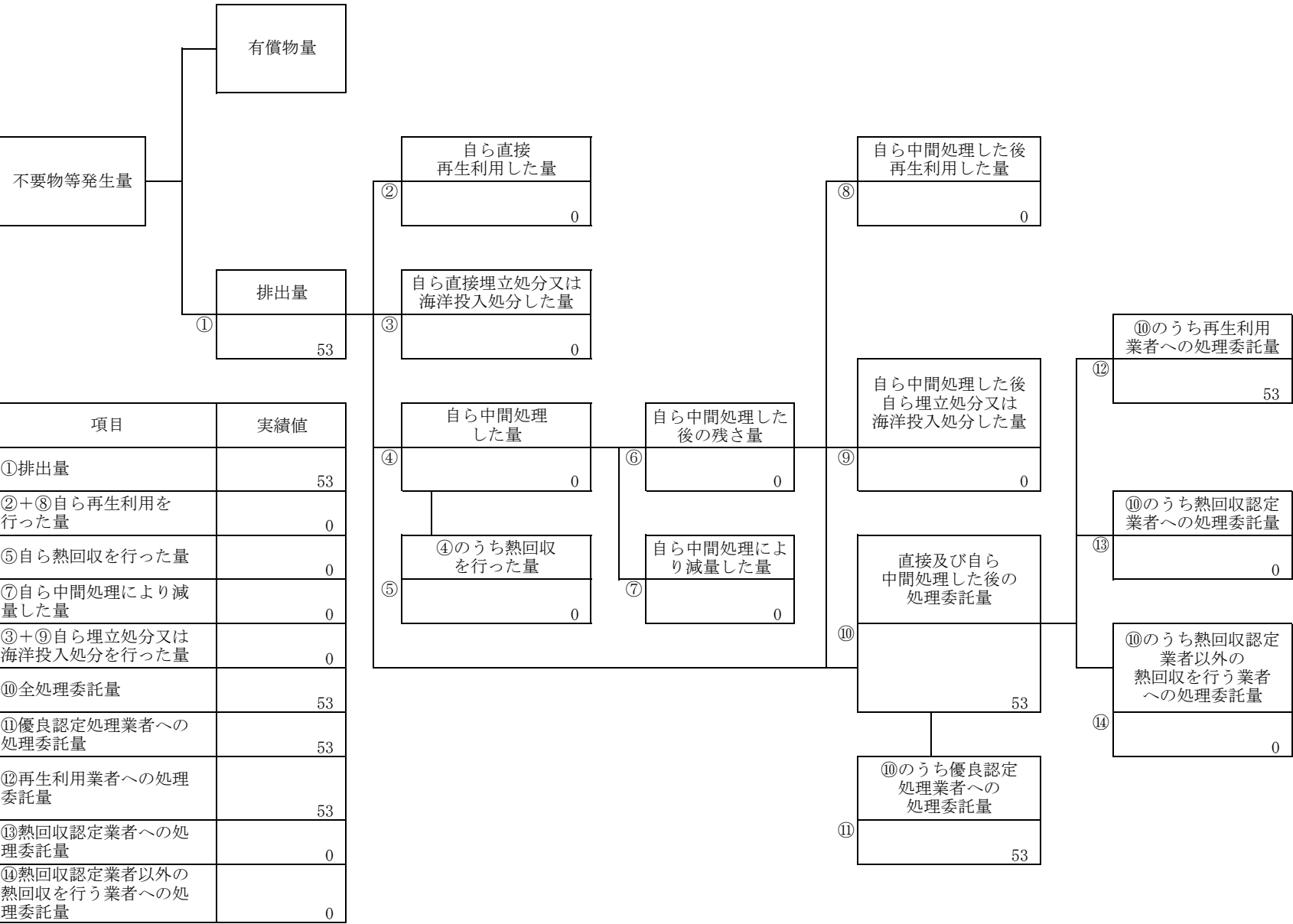
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ②燃え殻 B工程)



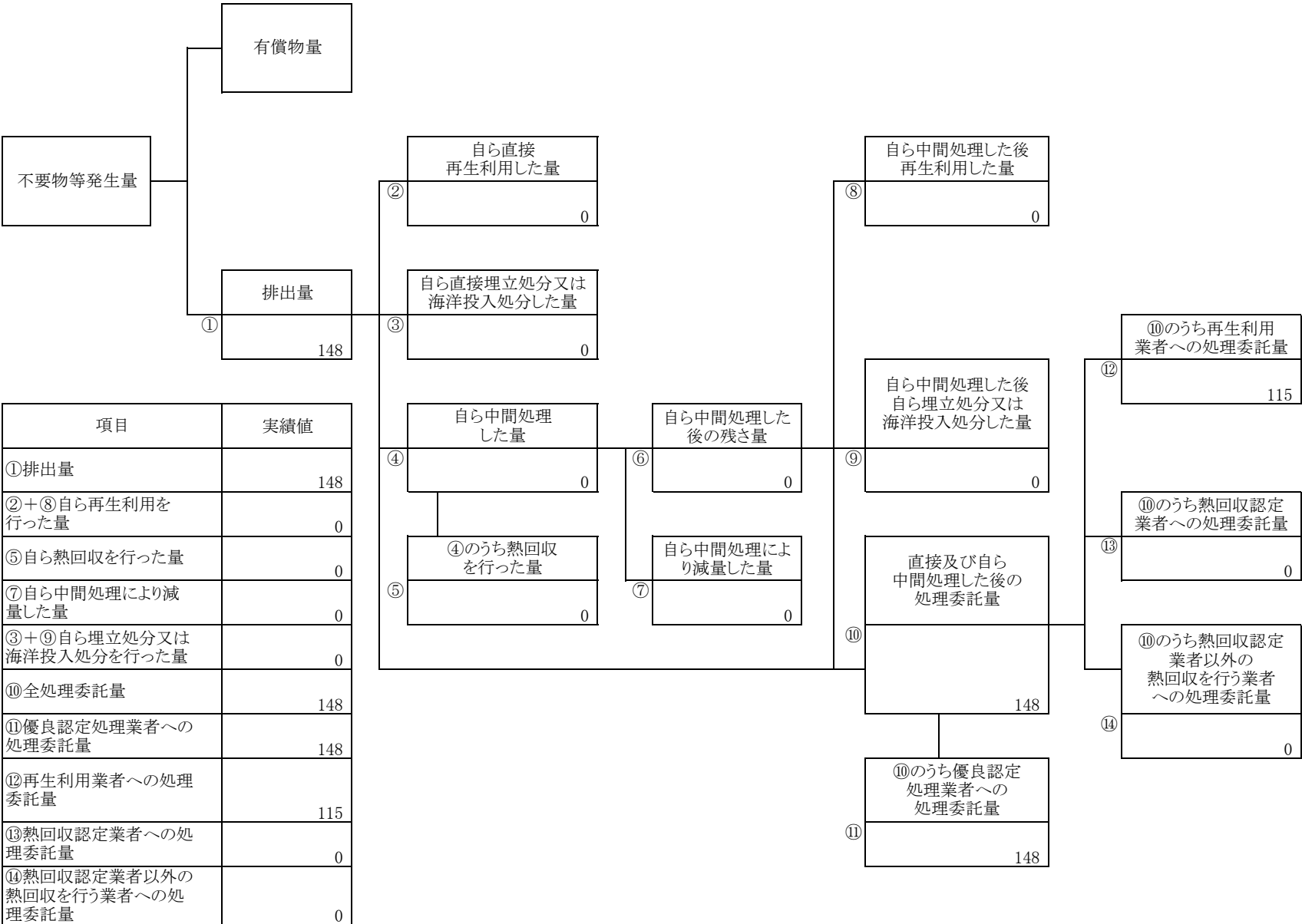
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ③がれき類 C工程)



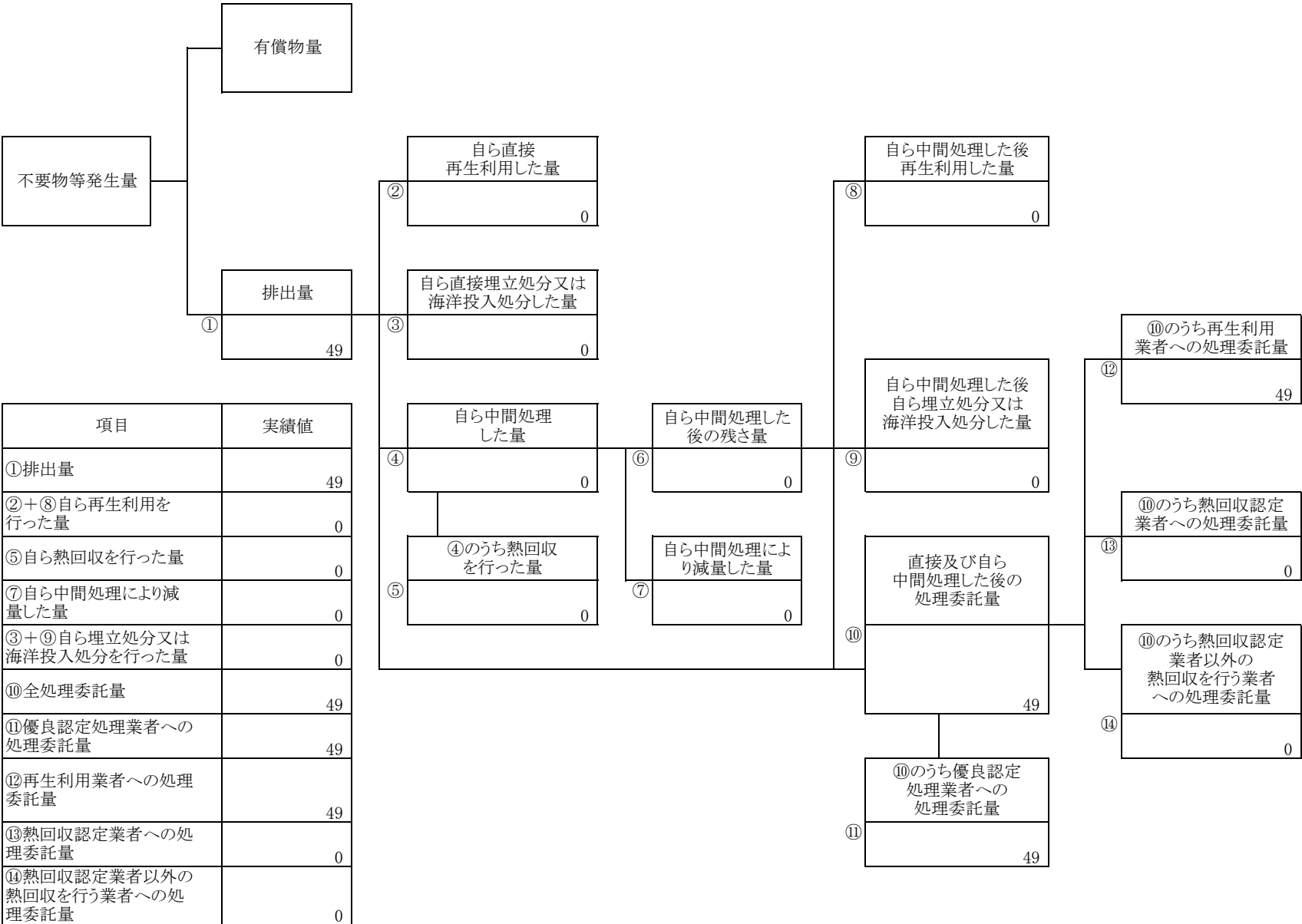
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ④廃プラスチック類 D,D'工程)



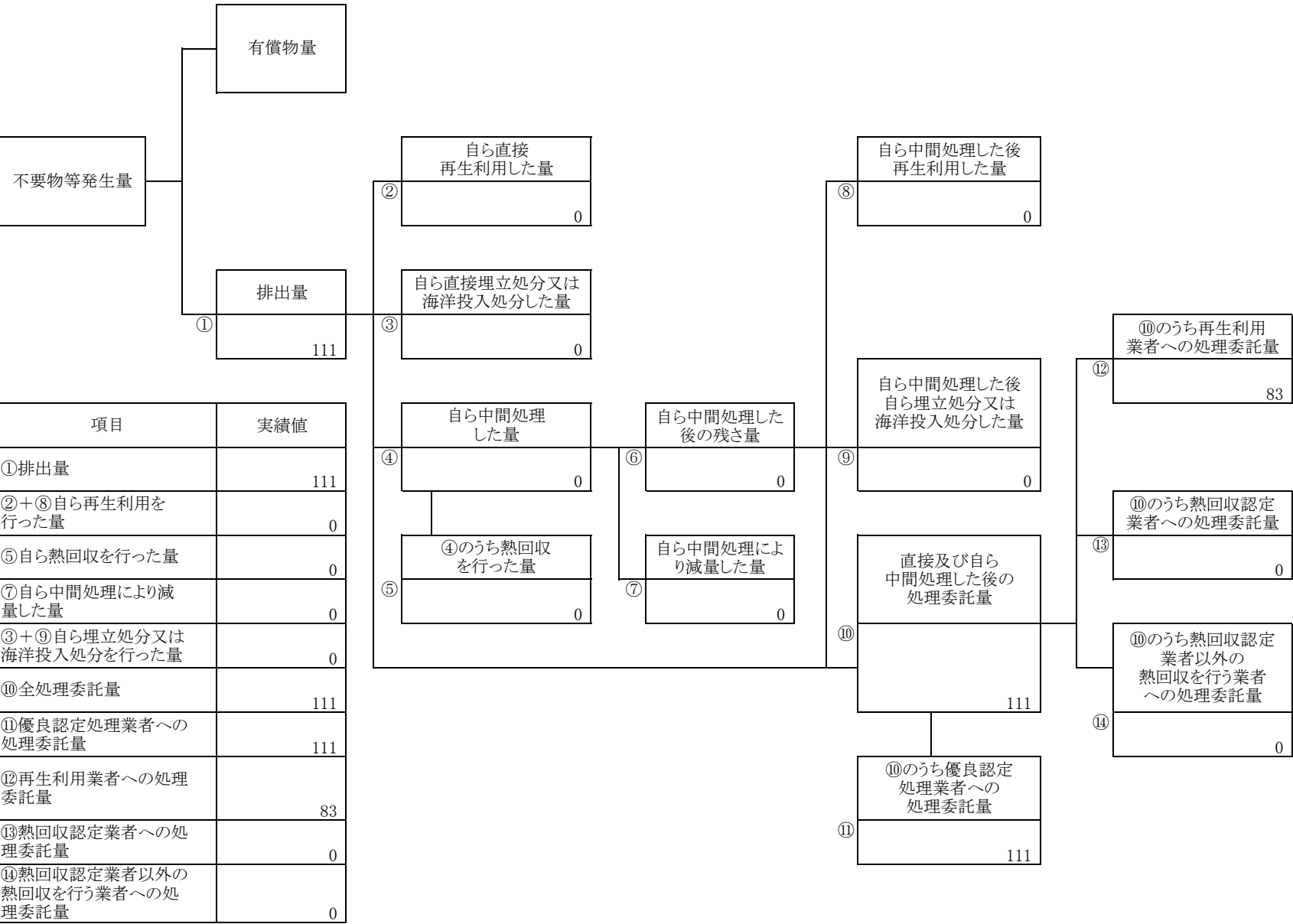
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑤木くず E,E'工程)



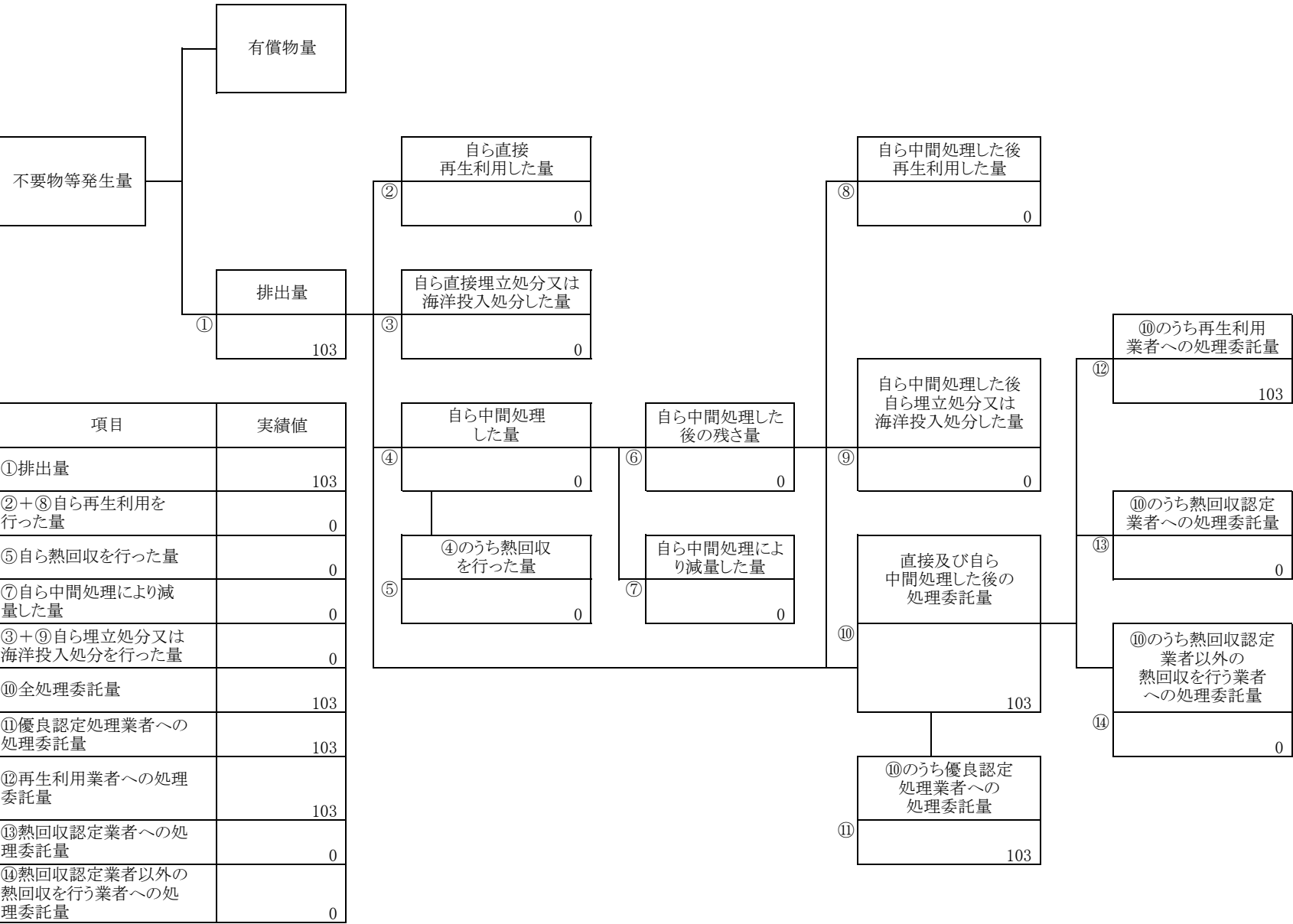
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑥無機性汚泥 F,F'工程)



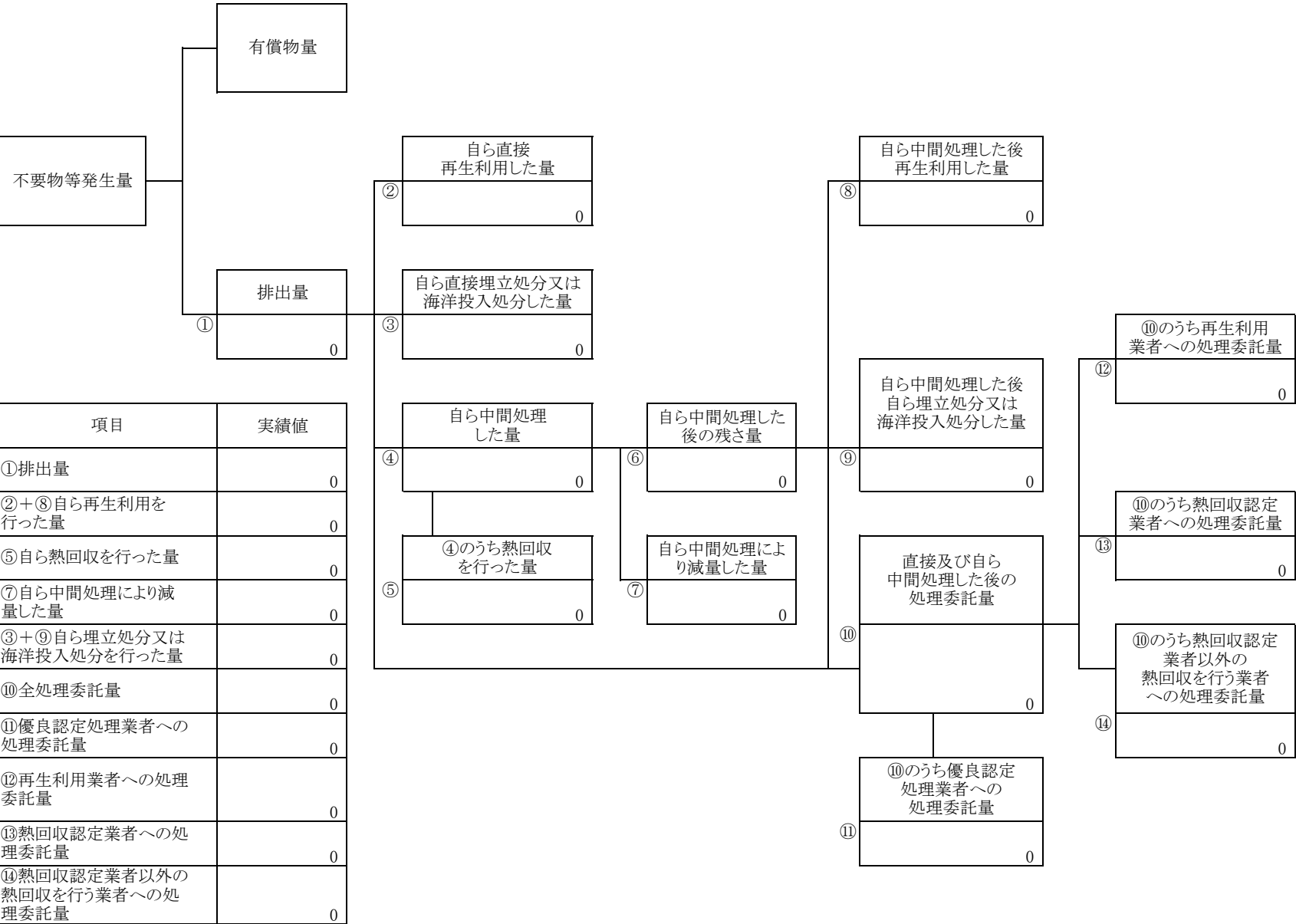
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑦廃酸 G工程)



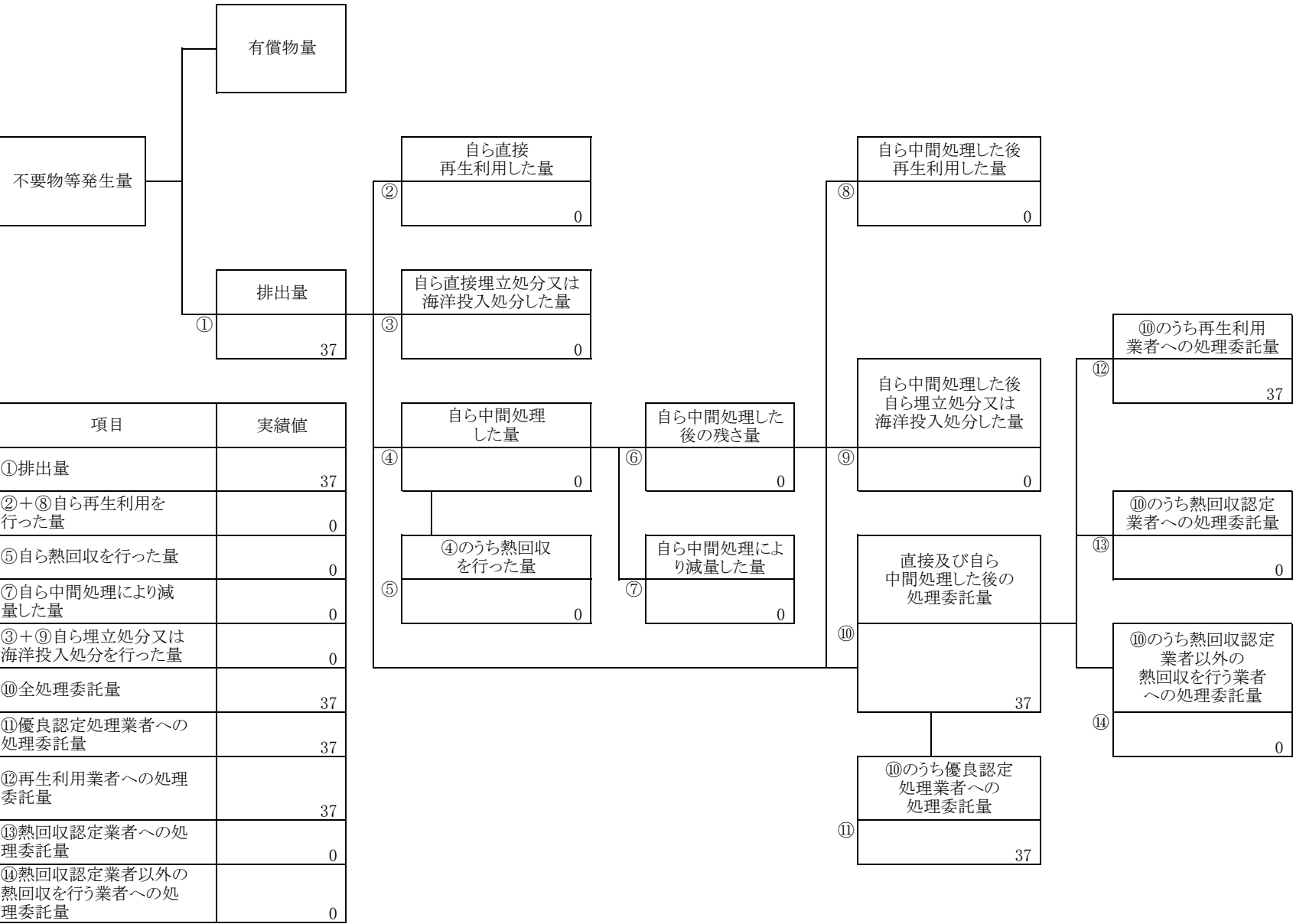
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑧ばいじん H工程)



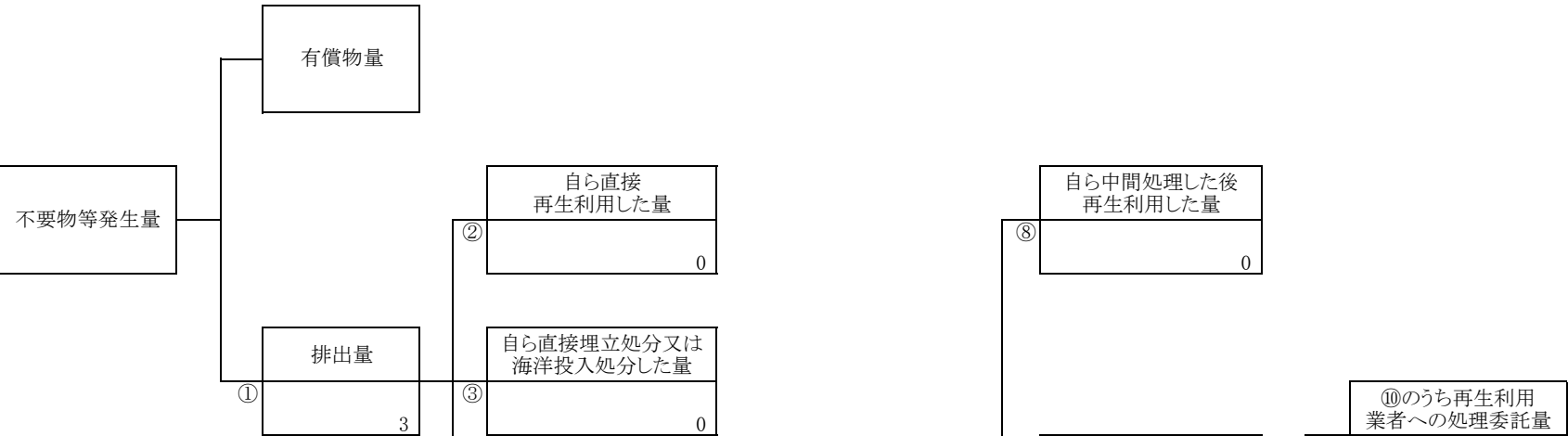
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑨安定型混合廃棄物 I工程)



計画の実施状況

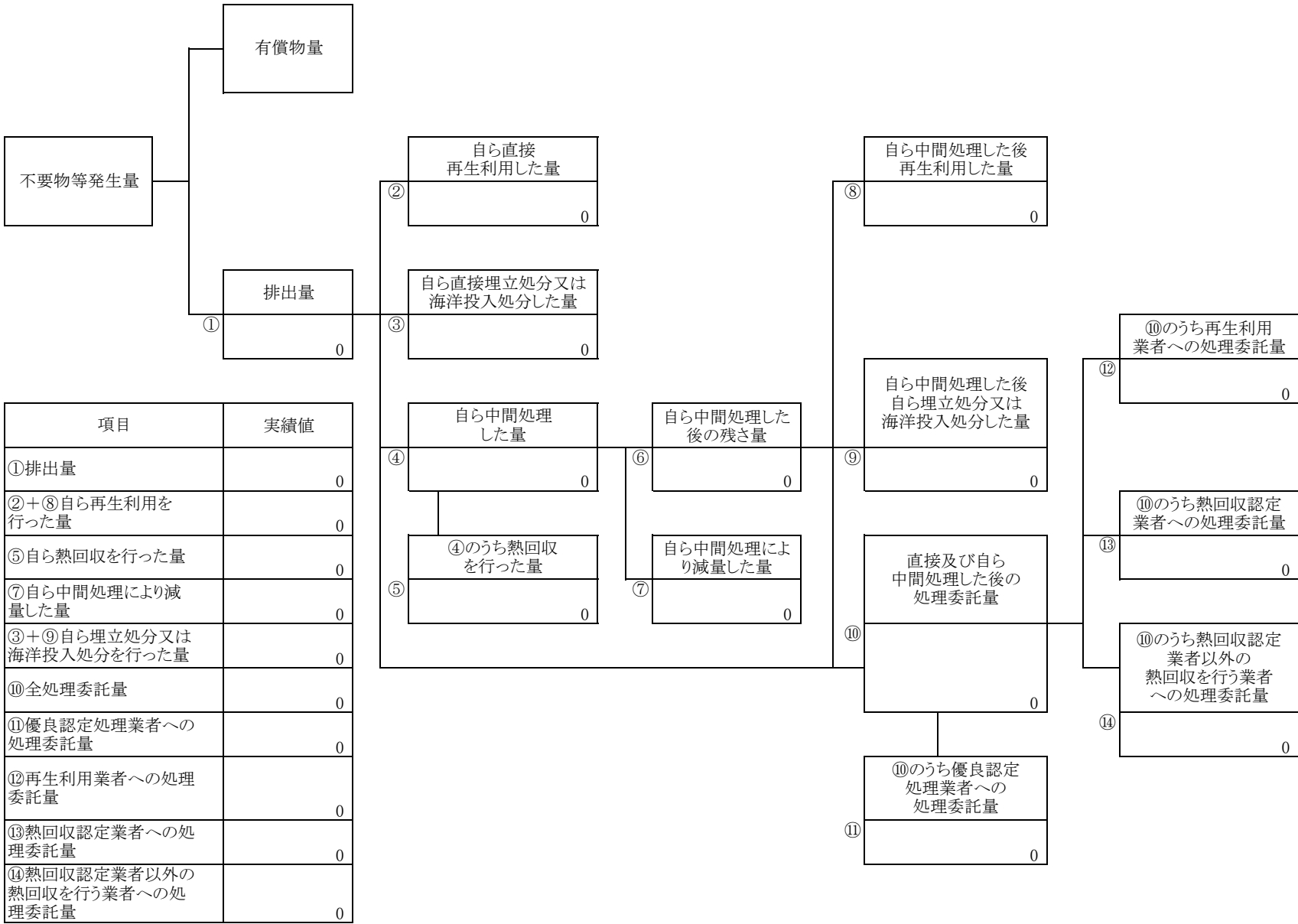
(産業廃棄物の種類: ⑩金属くず J工程)



項目	実績値
①排出量	3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3
⑫再生利用業者への処理委託量	3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

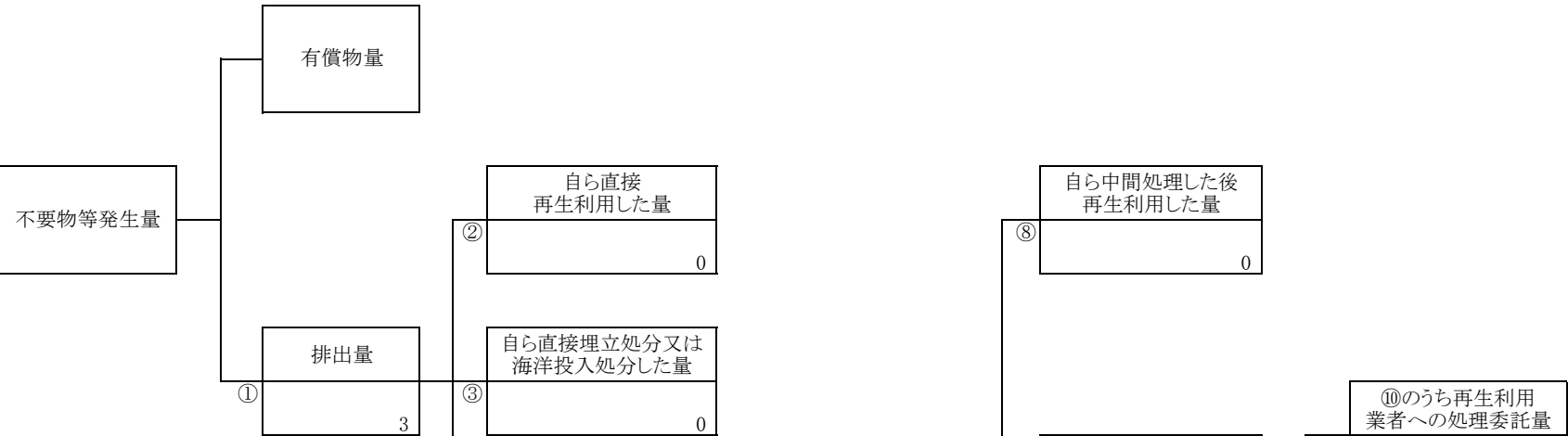
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑪電気機械器具(蛍光灯) K工程)



計画の実施状況

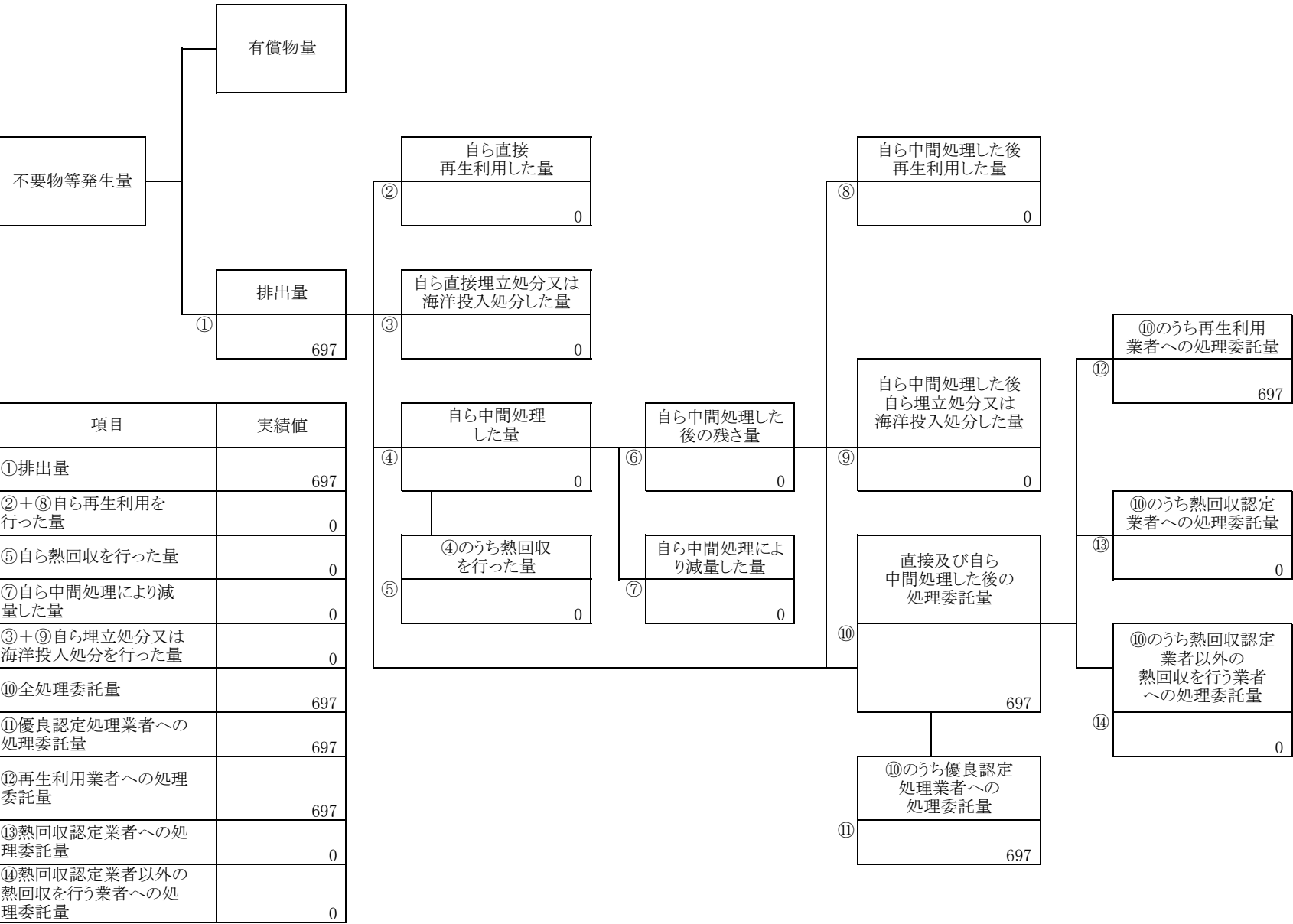
(産業廃棄物の種類: ⑫廃油 L工程)



項目	実績値
①排出量	3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3
⑫再生利用業者への処理委託量	3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ⑬廃アルカリ M工程)



産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 実 施 状 況 報 告 書 の 〔 別 紙 〕

排 出 者						
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府堺市堺区匠町1番地	コーニングジャパン株式会社 堺工場	安全環境技術課				

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況																	②+⑧	③+⑨
		①排出量	②自ら直接 再生利用した量	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した量	⑤④のうち 熱回収を行った量	⑥自ら中間処理 した後の残量	⑦自ら中間処理 により減量した量	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	(⑪＝ ①-②-③-④+⑥-⑧-⑨＝⑫+⑬+⑭+⑮+⑯)					⑰優良認定処理業者 への処理委託量(t)	⑱の量と⑲の量を合 計した量(t)		
コード	名 称	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	委 託 先 に よ る 区 分					(t)	(t)	(t)	(t)
												㉒再生利用業者への 処理委託量(t)	㉓熱回収認定業者 への処理委託量(t)	㉔熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	㉕その他の中間処理 委託量(t)	㉖埋立処分委託量(t)				
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立処分 又は海洋投入処分した 量	①の量のうち、中間処 理をせず自ら埋立処分 又は海洋投入処分した 量	①の量のうち、自ら中 間処理した産業廃棄 物の当該中間処理前 の量	④の量のうち熱 回収を行った量	⑥の量のうち、自 ら中間処理を行 った後の量	④の量から⑥の 量を差し引いた 量	⑤の量のうち、自 ら利用し、又は他 人に売却した量	⑥の量のうち、自ら埋 立処分及び海洋投入 処分した量	中間処理及び最終処分 を委託した量	⑫の量のうち、処理業者へ の再生利用委託量(⑬、⑭ を除く)	⑫の量のうち、認定熱回 収施設設置者である処理 業者への焼却処理委託 量	⑬の量のうち、認定熱回 収施設設置者以外の熱回 収業者への焼却処理委託 量	⑮の量のうち、委託して 焼却等の中間処理した量 (⑮～⑰を除く)	⑯の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑰の量のうち、優良認 定処理業者への委託処 理量	⑲の量と⑳の量を合 計したもの(自動計 算)	㉑の量と㉒の量を合 計したもの(自動計 算)	
1	1311 ①カレット A工程	566								566	566	563				3	363	0	0	
2	7424 ②燃え殻 B工程	0								0	0	0				0	0	0	0	
3	1500 ③がれき類 C工程	53								53	53	53				0	53	0	0	
4	600 ④廃プラスチック類 D,D'工程	148								148	115					33	148	0	0	
5	800 ⑤木くず E,E'工程	49								49	49					0	49	0	0	
6	220 ⑥無機性汚泥 F,F'工程	111								111	83					29	111	0	0	
7	400 ⑦廃酸 G工程	103								103	103					0	103	0	0	
8	1800 ⑧ばいじん H工程	0								0	0					0	0	0	0	
9	2010 ⑨安定型混合廃棄物 I工程	37								37	37					0	37	0	0	
10	1200 ⑩金属くず J工程	3								3	3					0	3	0	0	
11	3111 ⑪電気機械器具(蛍光灯) K工程	0								0	0					0	0	0	0	
12	300 ⑫廃油 L工程	3								3	3					0	3	0	0	
13	500 ⑬廃アルカリ M工程	697								697	697					0	697	0	0	
14	⑭																	0	0	
15	⑮																	0	0	
16	⑯																	0	0	
17	⑰																	0	0	
18	⑱																	0	0	
19	⑲																	0	0	
20	⑳																	0	0	
合計		1,770	0	0	0	0	0	0	0	0	1,770	1,705	0	0	0	66	1,567	0	0	

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。
(注2)上記の産業廃棄物の種類以外の排出実績があった場合は、必要に応じ、直接追加入力するとともに、第2面も追加してください。